

令和6年度第二回依存症治療拠点機関研修会の報告

令和6年度第二回依存症治療拠点機関研修会を、令和6年11月29日（金）16：30～18：00に開催いたしました。

徳島県の藍里病院副院長の吉田精次先生を、松山記念病院にお招きし講演していただきました。「嗜癮行動の理解と対応～飲酒行動という嗜癮行動～」と題し、嗜癮行動と嗜癮行動の治療についてお話していただき理解を深めることができました。

支援者は、依存行動の特徴である「気分を変えたい」「認められた」「自分を生きたい」という気持ちを理解し、その人が何よりも大切だと思っているものを守ること、実現することを受け入れこと。治療としては、嗜癮行動ができない環境を作ること。治療目的に向かって根気強く行動することで脳が回復し生活の質を変え動機付けに繋がるといふ、治療の出発点を改めて考える機会となり大変学びの多い研修となりました。

地域連携室